

## ●地区別計画推進活動報告（社会福祉大会第2部）

平成24年2月22日（水）、第30回 緑区社会福祉大会の第2部として、事例発表「身近な地域でつながりをつくるために！」が開催されました。

この事例発表は、平成23年度からスタートした「第2期 緑区地域福祉保健計画 みどりのわ・ささえ愛プラン」のうち、緑区で初めての策定された11地区ごとの「地区別計画」の具体的な取組内容を広く地域の方々にお伝えし、推進状況を共有・把握することを目的として、計画期間である平成23～27年度の間、毎年開催を予定しています。

当日は、緑公会堂を会場に、ロビーにて地域作業所・福祉施設製品の販売（参加施設：地域作業所陽だまり・みどりの家・横浜市中山みどり園・緑工房・ピネル工房・みどり福祉ホーム）が行われる和やかな雰囲気の中、日頃から、地域で福祉・保健などの活動で活躍されているの方々を中心に、およそ515名の皆さまにご参加いただきました。



<上：受付（2階ロビー）の様子>


第1部の式典では、緑区において永年にわたり社会福祉活動に携わってこられた多くの団体や個人の方の功績に感謝し、地域福祉の一層の充実を図ることを目的に表彰が行われました。

<下：式典（表彰）の様子>



の地域の暮らしについて考え、互いに協力し合い、支え合う“つながりづくり”の必要性が高まっている」との説明がされました。

<下：緑区社会福祉大会チラシ>



## 第30回 緑区社会福祉大会


日時：**平成24年2月22日（水）**

**午後1時から3時30分**

第1部 【式典】 社会福祉功労者の表彰 (1時～2時)  
第2部 【事例発表】 「身近な地域でつながりをつくるために！」 (2時～3時30分)

場所：**緑公会堂** ※手話通訳あり

※参加費無料・事前申込不要です  
※地域作業所・福祉施設製品の販売（2階ロビー）  
参加施設：地域作業所陽だまり・みどりの家  
横浜市中山みどり園・緑工房  
ピネル工房・みどり福祉ホーム



第1部では、緑区内の社会福祉活動に貢献した個人・団体の表彰を  
第2部では、平成23年度からスタートした「第2期 緑区地域福祉保健計画 みどりのわ・ささえ愛プラン」の推進状況を広く地域の方々にお伝えすることを目的に、具体的な推進事例を発表していただきます。

**第2部 内容**

★ 事例発表 「身近な地域でつながりをつくるために！」  
講師：田園調布学園大学 人間福祉学部 教授 村井 祐一 先生

事例発表  
◎東本郷地区の取り組み 東本郷地区別計画推進委員会  
◎白山地区の取り組み 白山地区別計画推進委員会

**お問い合わせ**  
緑区社会福祉協議会 電話931-2478 FAX934-4355  
緑区福祉保健センター福祉保健課 事業企画担当  
☎ 電話930-2304 FAX930-2355

そして、その表彰の余韻が冷めやらぬ中、休憩を挟んで、第2部がスタートしました。

はじめに「みどりのわ・ささえ愛プラン推進委員会」委員長の田園調布学園大学人間福祉学部教授の村井祐一先生から、発表を行う2つの地区の取組にも共通する“つながり”をテーマに「身近な地域でつながりをつくるために！」と題した説明がありました。

「身近な生活課題の解決には、住民自身が自ら



<上：村井氏（敬称略）>

続いて、行われた事例発表では、まず、東本郷地区、次いで白山地区から報告がされました。それぞれの地区の概要・特徴・策定経過・取組内容がパワーポイントを用いて説明されました。



＜左：左から東本郷地区の柳氏、吉田氏、白山地区の山口氏（敬称略）＞

東本郷地区では、地区別推進委員会が中心となり、昨年11月に初めて開催した「東本郷 郷（ふるさと）まつり」の話を中心に話がされました。「絆」をキーワードに、支え合い、一緒に集い、楽しみを共有する」という目標を明確に持ちながら、策定時に共有した課題の解決を図ることを意識して取り組んだプロセスや、開催後に振り返りを行い、十分な手応えを感じることができたこと、さらに、推進委員会では、その他の目標の達成に向けて、各団体の推進状況の報告を定期的に行い、共有しながら、様々な観点から論議を重ねていること、などが説明され、最後に「このまちに住んで良かった」と思われるよう、「共に支え共感し合える活動へと輪を広げていきたい」と言葉で締めくくられました。

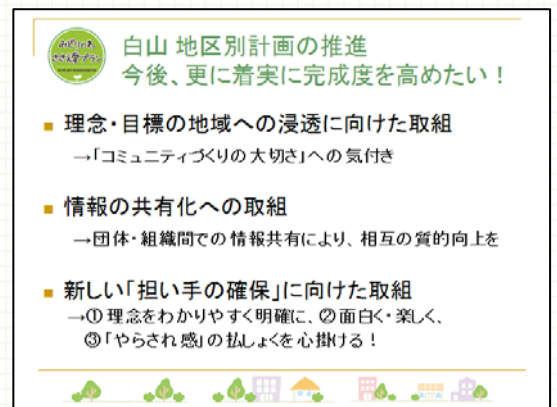
また、村井先生とのやり取りの中では、今後の様々な取組の展望についても説明がありました。



＜上：東本郷地区の報告内容の一部＞

白山地区では、山口委員長が地域活動に携わった経緯、地域の問題発生時の要因と課題が説明され、地域で大切な「つながり」、「絆」、住んでいる「まち」を思う心が不足している、という分析を基に、取組とその課題を整理し、他都市の事例を参考に、「地域の課題解消」を地域福祉保健計画に期待する思いが話されました。

第1期の振り返りアンケート結果を参考にしながら第2期計画の地区別計画に取り組み、「白山『安全・安心なまちづくり』～新しいコミュニティの醸成～」という理念と、「防犯」「防災」「福祉」「子どもの健全育成」「環境」という5つの目標を明確にし、30人体制の推進委員会を毎月開催していることや、大きな成果というほどではないが、着実に前進しつつあるという手応えを感じていること、そして最後に、取組の「理念・ビジョン・目標」を共有にしながら、「完成度を着実に高めていきたい。」という抱負が語られました。



各地区の発表後には、来場者に対し、村井先生から発表内容に則した質問が出され、色紙刷りの大会プログラムの表裏を使い「YES/NO」で答えていただきました。発表を聞くだけでなく、参加しながら、自身の住む地域の取組と比較することで、発表内容をより身近に感じることができ一時になりました。

最後には、村井先生から総評をいただき、会場からの大きな拍手でプログラムが終了しました。



＜上：会場の様子＞